

# 第7章 計画の目標、評価指標

## 7.1 計画の目標と評価指標

第6章で定めた基本理念や基本方針に基づき、計画期間中に達成すべき目標と、その達成状況を評価するための評価指標を以下のとおり設定します。

表 5 計画の基本方針と目標、評価指標の関係

### 基本方針① あらゆる交通手段の連携による持続可能な交通ネットワークの構築

#### 【目標 1-1】 持続可能な交通ネットワークの構築に資する支出の確保

尾道市都市計画マスタープランの内容を踏まえ、幹線機能・支線機能を持続可能にしていく観点から、必要な支出は確保していくことを目指します。

その観点から、評価指標を以下のとおり設定します。

**評価指標 1** 公共交通ネットワークの収支率

**評価指標 2** 公共交通ネットワークの維持に係る利用者 1 人あたりの年間行政負担額

#### 【目標 1-2】 交通手段間の連携による利便性の向上

本市の多様な交通手段間での連携を高めることで、既存の輸送資源を活かしつつ利便性を高め、持続可能性を向上させることを目指します。

その観点から、評価指標を以下のとおり設定します。

**評価指標 3** 利便性向上に資する事業の取組割合

### 基本方針② 公共交通を知るきっかけづくりと利用する機会の提供

#### 【目標 2】 公共交通を利用する機会の増加

本市の公共交通について知っていただく機会を増やし、理解を深めていくことで、少しずつでも公共交通を利用する機会を増やしていくことを目指します。

その観点から、評価指標を以下のとおり設定します。

**評価指標 4** 市民 1 人あたりの公共交通の年間利用回数

### 基本方針③ 公共交通のデジタル化の推進

#### 【目標 3】 デジタルトランスフォーメーションの推進

公共交通のデジタル化の取組を進めることにより、業務の効率化や情報提供の質の向上を図るデジタルトランスフォーメーションの推進を目指します。

その観点から、評価指標を以下のとおり設定します。

**評価指標 5** デジタルトランスフォーメーションに資する事業の取組割合

## 7.2 評価指標の評価方法と目標設定

前項で設定した評価指標の評価方法と現状値、目標値について、それぞれ以下のとおり設定します。

| 評価指標 1        | 公共交通ネットワークの収支率   |                             |             |         |
|---------------|--|-----------------------------|-------------|---------|
|               | <現状値：令和4年度>  |                             | <目標値：令和9年度> |         |
|               | 陸上   | 海上                          | 陸上          | 海上      |
|               | 71.3%  | 56.3%                       | 71.3%以上     | 56.3%以上 |
| 評価指標の<br>計算方法 | 補助を受けている事業者の経常費用に対する経常収入の割合(各事業者の実績調査結果から整理)<br>※山陽道を経由する系統は除外する<br>※系統別の経常費用の合計と経常収入の合計の比率で評価<br>※前年度の実績値にて評価(例：現状値＝令和4年度の評価：令和3年度実績)   |                             |             |         |
| 評価対象          | 陸上交通   | 路線バス(5事業者)、乗合タクシー、自家用有償旅客運送 |             |         |
|               | 海上交通   | 補助対象航路(6事業者)(一部補助対象外の航路も含む) |             |         |
| 目標値の<br>考え方   | 市民に対するモビリティ・マネジメントや外出機会の増加に取り組むことで公共交通のサービス水準(運行本数等)の維持・向上を図るとともに、観光利用の促進等による新たな需要開拓により、収支率について現状以上を目標とします。<br>※運行経費、運賃収入、年間行政負担額を令和3年度実績と同水準と仮定している。<br>※燃油費高騰など経済状況に大きな変化がある場合、協議会において目標値の見直し等を検討する。 |                             |             |         |

| 評価指標 2        | 公共交通ネットワークの維持に係る利用者1人あたりの年間行政負担額   |   |             |            |
|---------------|--|---|-------------|------------|
|               | <現状値：令和4年度>  |   | <目標値：令和9年度> |            |
|               | 陸上   | 海上  | 陸上          | 海上         |
|               | 140.2円/人   | 168.4円/人                                      | 140.2円/人以下  | 168.4円/人以下 |
| 評価指標の<br>計算方法 | 公共交通ネットワークの維持に係る市の補助金額の合計値÷補助対象系統・航路の年間利用者数<br>※前年度の実績値にて評価(例：現状値＝令和4年度の評価：令和3年度実績)<br>※補助金額がゼロの系統・航路は対象外  |   |             |            |
| 評価対象          | 陸上交通   | 地域間幹線系統、広域生活交通路線、市町等運行路線、フィーダー系統、その他(尾道市運行路線) |             |            |
|               | 海上交通   | 離島航路補助、生活航路維持確保対策事業、その他(尾道市独自補助、三市町協調補助)      |             |            |
| 目標値の<br>考え方   | 評価指標1と同様、モビリティ・マネジメントや外出機会の増加に取り組むことで公共交通のサービス水準(運行本数等)の維持・向上を図るとともに、観光利用の促進等による新たな需要開拓により、利用者1人あたりの年間行政負担額について現状以下を目標とします。<br>※運行経費、運賃収入、年間行政負担額を令和3年度実績と同水準と仮定している。<br>※補助金については、都度状況に応じて検討を行う。<br>※燃油費高騰など経済状況に大きな変化がある場合、協議会において目標値の見直し等を検討する。 |   |             |            |

|               |  |           |           |           |             |           |           |           |           |           |
|---------------|--|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 評価指標 3        | 利便性向上に資する事業の取組割合   |           |           |           |             |           |           |           |           |           |
| <現状値：令和4年度>   |  |           |           |           | <目標値：令和9年度> |           |           |           |           |           |
| 60.0%         |  |           |           |           | 100.0%      |           |           |           |           |           |
| 評価指標の<br>計算方法 | 施策②ならびに③に記載されている事業のうち、取り組んだ事業数の割合<br>(事業者等からの報告により市が取りまとめ)   |           |           |           |             |           |           |           |           |           |
| 評価対象          | 施策②  |           |           |           |             | 施策③       |           |           |           |           |
|               | 事業<br>②-1  | 事業<br>②-2 | 事業<br>②-3 | 事業<br>②-4 | 事業<br>②-5   | 事業<br>③-1 | 事業<br>③-2 | 事業<br>③-3 | 事業<br>③-4 | 事業<br>③-5 |
|               |  |           |           |           | ○           | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         |
| 目標値の<br>考え方   | 利便性向上に向けた施策②ならびに③の実施を推進するため、計画で位置付ける各事業について、すべて取り組むことを目標とします。(なお、すでに取り組んでいる事業についても、取組件数の増加や内容の充実を図ります) |           |           |           |             |           |           |           |           |           |

|               |  |                                     |  |  |             |  |  |  |  |  |
|---------------|--|-------------------------------------|--|--|-------------|--|--|--|--|--|
| 評価指標 4        | 市民1人あたりの公共交通の年間利用回数  |                                     |  |  |             |  |  |  |  |  |
| <現状値：令和4年度>   |  |                                     |  |  | <目標値：令和9年度> |  |  |  |  |  |
| 53.2回/人       |  |                                     |  |  | 56.2回/人以上   |  |  |  |  |  |
| 評価指標の<br>計算方法 | 市内を運行する陸上・海上交通の利用者数の合計値(千人単位)÷住民基本台帳人口<br>(事業者等からの報告や統計資料等から市が取りまとめ)   |                                     |  |  |             |  |  |  |  |  |
| 評価対象          | 年間利用回数：それぞれ以下の方法で算出し、合算する  |                                     |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 鉄道   | 前年度の年間利用者数                          |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 路線バス   | 前年度または前事業年度の市内運行系統の利用者数             |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 乗合タクシー   | 前年度の年間利用者数                          |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 自家用有償<br>旅客運送  | 前年度の年間利用者数                          |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 一般乗用<br>タクシー   | 中国運輸局運輸要覧に掲載される前年度の尾道交通<br>圏の年間利用者数 |  |  |             |  |  |  |  |  |
|               | 航路   | 前年度の市内運航航路の利用者数(補助航路のみ)             |  |  |             |  |  |  |  |  |
| 目標値の<br>考え方   | 住民基本台帳人口：前年度の9月30日時点(ただし運賃の支払いが生じる6歳以上を対象とする)<br>人口減少が進む中であっても、人口1人あたりの利用回数を増やすことで、公共交通の年間利用者数の総数を維持することを目標とします。 |                                     |  |  |             |  |  |  |  |  |

|               |  |  |  |       |             |  |       |  |  |  |
|---------------|--|--|--|-------|-------------|--|-------|--|--|--|
| 評価指標 5        | デジタルトランスフォーメーションに資する事業の取組割合  |  |  |       |             |  |       |  |  |  |
| <現状値：令和4年度>   |  |  |  |       | <目標値：令和9年度> |  |       |  |  |  |
| 66.7%         |  |  |  |       | 100.0%      |  |       |  |  |  |
| 評価指標の<br>計算方法 | 施策⑤に記載されている事業のうち、取り組んだ事業数の割合<br>(事業者等からの報告により市が取りまとめ)  |  |  |       |             |  |       |  |  |  |
| 評価対象          | 事業⑤-1  |  |  | 事業⑤-2 |             |  | 事業⑤-3 |  |  |  |
|               | ○  |  |  | ○     |             |  |       |  |  |  |
| 目標値の<br>考え方   | デジタルトランスフォーメーションに向けた施策⑤の実施を推進するため、計画で位置付ける各事業について、すべて取り組むことを目標とします。(なお、すでに取り組んでいる事業についても、取組件数の増加や内容の充実を図ります) |  |  |       |             |  |       |  |  |  |